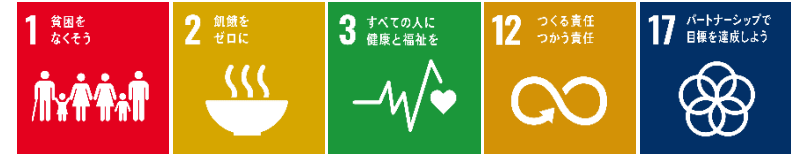


令和5年度鳴門市部長実行宣言

市民生活部
小 椋 勝

市民協働推進課・市民課・スポーツ課・文化交流推進課



視 点 （該当する視点を選択）	
☐ 最重要課題	☐ チャレンジ
☒ SDGs取組推進	
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
消費者トラブルに係る安全の確保と持続可能な社会の実現	
現 状	課 題
【令和4年度実績】 ・消費生活協力団体 14 団体 ・出前講座回数 7 回 ・エシカル消費に関する講演会 1 回 ・フードポスト 1, 270 点 ・出張フードポスト設置箇所数 1 カ所	成年年齢の引き下げや少子高齢化に伴い、今後さらに、消費者トラブルの増加が懸念されている。また、情報通信機器の普及や国際化などにより、犯罪被害が複雑化していることから、一人一人が正しい理解と情報を共有し、組織的な見守り体制を強化する必要がある。 また、食品ロスの約半分は家庭から排出されている状況を踏まえ、積極的に周知啓発を行うことにより、エシカル消費への理解と取組みを促進する必要がある。
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
・消費生活協力団体 20 団体 ・出前講座回数 8 回 ・エシカル消費に関する講演会 2 回 ・フードポスト 1, 300 点 ・出張フードポスト設置箇所数 3 カ所	①消費生活協力団体を拡充することにより、地域の見守りや情報収集・ネットワーク内での情報共有を図り、消費者トラブルの未然防止や早期解決に努める。 ②食品ロス削減・エシカル消費に関して、講演会の開催や出前講座等を通じて周知することにより持続可能な社会の実現を目指す。 ③フードポストについて企業や団体への協力を求め、設置箇所を増やすことにより、さらに食品ロスの削減やエシカル消費への取組みを促進する。

令和5年度鳴門市部長実行宣言



市民生活部
小 椋 勝

市民協働推進課・市民課・スポーツ課・文化交流推進課

視 点 （該当する視点を選択）	
☒ 最重要課題	☐ チャレンジ
☒ SDGs取組推進	
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
デジタル技術を活用した市民サービスの向上	
現 状	課 題
【令和4年度実績】 ・コンビニ交付の周知件数 10件 ・コンビニ交付利用率 25.6%（10,643件/41,626件）	戸籍・住民票など証明書については、マイナンバーカードを使いコンビニ交付を利用することで、市役所の閉庁日や祝日、夜間においても取得が可能となり、市民の利便性向上につながるものと考えられる。 しかし、マイナンバーカードに係る問題が相次いでおり、今後も情報収集を図り、適切に対応する必要がある。
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
・コンビニ交付の周知件数 15件 ・コンビニ交付利用率 35%	①個人情報の取扱いには細心の注意を払うとともに、国等から発信される情報を適切に周知する。 ②マイナンバーカードの交付率が急速に向上している現状を鑑み、令和5年4月からコンビニ交付に係る手数料を150円に値下げなど市民の利便性向上を図る。 ③コンビニ交付の利便性や手順、注意事項などについて、広報・SNSなど様々な媒体や各種イベントを活用した周知啓発を継続的に実施する。

令和5年度鳴門市部長実行宣言

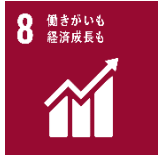
市民生活部
小 椋 勝

市民協働推進課・市民課・スポーツ課・文化交流推進課



視 点 （該当する視点を選択）	
☐ 最重要課題	☐ チャレンジ ☒ SDGs取組推進
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
「なると第九」ブランド化の推進と次世代育成	
現 状	課 題
「なると第九」ブランドの情報発信及び市内の小学生を対象とした次世代育成に取り組んでいる。 【令和4年度実績】 ・「なると第九」啓発活動の実施 ：5件 ・県外からのドイツ館教育旅行実績：3校・228人 ・「第九」合唱指導の参加数 ：5校・224人 ・「第九」現地学習の参加数 ：10校・305人	・本市が誇る「第九」アジア初演の歴史に関連する観光・文化・歴史分野などの既存の資源を活用し、認知度の向上や誘客の促進、地域経済の活性化や文化振興につなげるため、「なると第九」ブランドを市内外に積極的に情報発信する必要がある。 ・「第九」アジア初演の歴史的背景及び現在まで続くドイツとの交流について、郷土の誇りとして後世に引き継ぐための人材を育成する必要がある。
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
・「なると第九」啓発活動の実施 ：5件 ・県外からのドイツ館教育旅行件数：5校・300人 ・「第九」合唱指導の参加数 ：13校・350人 ・「第九」現地学習の参加数 ：13校・350人	①PR動画等を活用した「なると第九」啓発活動を実施 ②「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた教育旅行誘致パンフレットの更新と周知啓発を実施 ③合唱指導では「第九」の合唱指導者とピアニストによる各小学校への訪問指導を実施 ④現地学習ではドイツ館等を児童が見学し、ドイツ館職員や国際交流員による説明を受け、理解を深める

令和5年度鳴門市部長実行宣言



市民生活部	
小 椋 勝	市民協働推進課・市民課・ <u>スポーツ課</u> ・文化交流推進課

視 点 （該当する視点を選択）	
☐ 最重要課題	☐ チャレンジ ☒ SDGs取組推進
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
スポーツ大会・合宿の誘致・開催及びスポーツ関連産業の成長産業化の推進	
現 状	課 題
令和3年3月に設立されたNARUTOスポーツコミッションと連携し、スポーツ大会・合宿の誘致・開催及びスポーツ関連産業の推進に取り組んでいる。 【令和4年度実績】 ・スポーツ大会・合宿誘致 10件 ・大会合宿誘致県外訪問活動 3日 ・ナルトレタビ一般販売数 287足 ・スポーツフード販売数 1,445食 ・スポーツ産業PR出店 3件	コロナ禍においても様々な制限を受ける中、可能な範囲で大会・合宿の誘致・開催に取り組んできた。今後、大会・合宿の需要が回復することを見据え、より積極的に誘致・開催に取り組む必要がある。 また、スポーツ関連産業の創出として開発した「ナルトレタビ」については、令和5年1月に全国放送のテレビ番組で紹介したことで一時的に販売数が増加した。引き続き、販売促進を図るため、スポーツフードと合わせて積極的にPRを行う必要がある。
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
広くスポーツ大会や合宿を誘致・開催することにより、交流人口の増加と地域経済の活性化を図るとともに、スポーツと地域産業の振興を図る。 ・スポーツ大会・合宿誘致 16件 ・大会合宿誘致県外訪問活動 4日 ・ナルトレタビ一般販売数 200足 ・スポーツフード販売数 1,500食 ・スポーツ産業PR出店 2件	①スポーツ大会・合宿については、県外の旅行代理店等を直接訪問し、新たに作成したアグリ・ガストロノミーツーリズムのパンフレットやトレーニングマップを活用し、スポーツ施設などの情報に加え、豊かな自然や味覚・観光などの本市の魅力を伝えるPR活動を行うことで誘致につなげる。 ②コミッションで開発したスポーツ足袋「ナルトレタビ」及びアスリートに必要な栄養を考え開発した「スポーツフード」のさらなる販売促進を図るため、ブース出店を行うなど、商品の知名度向上と販売促進に取り組む。また、ナルトレタビを使った新しいトレーニングを「鳴門モデル」として全国に発信する。